

亀岡市勢要覧2005から抜粋（亀岡市ホームページに掲載）

## ○亀岡千年物語

### 縄文・弥生・古墳時代－ 交流盛んな亀岡の縄文人。

亀岡に人間が住み始めたのは、約一万年前の縄文時代です。当時を知る手がかりである鹿谷遺跡で見つかった槍の先の黒曜石は、島根県の隠岐島のものである可能性が高く、また、千代川遺跡で見つかった槍の先のサヌカイトという石は、奈良県の二上山産であると推定され、さらに、弥生時代後期の遺跡である北金岐遺跡では、大阪府の河内方面で作られた土器が見つっています。

### 奈良・平安時代－ 平安京を支えた亀岡。

約一二六〇年前、奈良に東大寺が建立され、全国に国分寺が置かれたとき（七四一年）、丹波・亀岡には全国でも珍しく国分寺・国分尼寺が整然と並んで配され、生産力の高い広大な農地も区画整理されました。

このころ、現在の京都・嵯峨野一帯には、古代朝鮮半島からの渡来人である秦氏が住んでいました。桂川が「大堰川」と呼ばれるのは、秦氏が現在の嵐山付近につくった農業用の「堰」に由来しており、嵐山の松尾大社も秦氏が祭ったものです。また、当時の亀岡を含む地域の呼び名は丹波国桑田郡ですが、「桑田」の名は、養蚕に優れた秦氏が保津峡を拓いて丹波・亀岡を桑の田にしたことが発端ともいわれ、亀岡市内には秦氏ゆかりの松尾系神社が多く存在します。やがて、長岡京を経て七九四年に平安京が置かれますが、これは秦氏の財力によるところが大きいといわれ、都の食料を供給する丹波・亀岡の広大な農地と、豊富な木材を運ぶ水路としての保津川が背景にあったことも事実でしょう。

時は九八四年、王朝文化が華やかになりしころ、亀岡で生を受けたといわれ、古代中国の渡来人の末裔と伝えられる丹波康頼が、日本で最初の医術書である「医心方」三〇巻を著し、当時の朝廷に献上しました。亀岡には丹波康頼の伝承がいくつか残っています。

### 安土・桃山時代－ 明智光秀、丹波を攻略し亀山城を築城。

敵は本能寺にあり。織田信長を討った「本能寺の変」で知られる、明智光秀。この高名な戦国武将は、丹波亀山の地（現在の亀岡市）に亀山城を築城した人物でもあります。信長の命により、一五七五年から約五年の歳月をかけて丹波を攻略し、その間に亀山城を築きました。一五八〇年には信長より丹波を与えられ、同城を本拠地として京都の東西要衝を掌握、近江・丹波の諸侍や幕府旧臣を中心とする家臣団を形成しました。また一方では、茶の湯・連歌を好む理性的で教養豊かな武将でした。亀岡市では毎年五月三日に亀岡光秀まつりが開かれ、光秀をしのび武者行列が行われます。

### 江戸時代－ 天下泰平。偉人たちを育んだ丹波亀山。

家康が征夷大將軍となり、江戸幕府を開いた三年後の一六〇六年、角倉了以は、幕府の許可を得て保津峡を開さく。これによって保津峡を下る船や筏の安全が確保されました。その後の一六〇九年、岡部長盛が入城して丹波亀山藩主に。家康の命による天下普請で亀山城が整備されます。

城普請の天才といわれた藤堂高虎に新たな亀山城整備を命じます。高虎は、自身が持てるすべてを注いだ、最新鋭五層の亀山城を一六一〇年に完成させました。

丹波亀山藩は城下町として、また山陰道の宿場町として賑わいます。そして安定した時代を背景に、心学の祖である石田梅岩、日本最初の人体解剖を行った山脇東洋、円山派画風を確立した円山応挙らを輩出しました。一方、心学の教えである「儉約」を実践して浄財を持ちより、町ごとに祭の鉦を建造するなど、町衆の活動が展開されました。

## ○時代を雄弁に語る史跡と文化財一

京より長い歴史を誇る丹波・亀岡。

その遙かな時代を物語る社寺や仏像などの史跡・文化財が、今も数多く残されています。

弘法大師ゆかりの千手寺、円山応挙が幼少時代を過ごした金剛寺、

心学の祖・石田梅岩の生地には梅岩公園。

出雲大神宮本殿や木造薬師如来坐像をはじめとする国指定重要文化財だけでも

二十四が保存されています。

### 木造金剛力士立像一

高さ三メートルを超える仁王像は、市の指定文化財。阿形像と吽形像の二体が相對して金輪寺に安置されています。一三〇一年に仏師定有によって造像されたもので、以後二度補修されています。

### 鑄鉄製薬師如来坐像一

市内でただ一つの鑄鉄仏である鑄鉄薬師如来坐像。像高は五一・五センチメートルと小型のものです。同じ鑄型で造られたものが、ドイツのケルン東亜美術館と京都市右京区山ノ内の念仏寺にあります。

### 木造十一面観音立像一

極楽寺の木造十一面観音立像は、像高二〇一・一センチメートルの巨大な観音菩薩で、国の重要文化財。頭部にあった十一面はすべて欠失しています。面部の輪郭と各部分の造型、髪 of 彫り出し方、太い三道から肩、胸にかけての重量感に満ちあふれた造型、側面から見た腰辺のたくましい量感など、平安前期の仏像の特徴が表現されています。

### 出雲太神宮一

七〇九年の創祀と伝えられ、丹波国の一の宮、また「延喜式」神名帳では明神大社に列する古い社です。三間社流造りの本殿は国の重要文化財。一三四六年に足利尊氏が造営したといわれています。また、本殿背後の御影山は神体山として崇拜されています。

### 穴太寺と木造涅槃像一

穴太寺は西国観音霊場二十一番札所。寺の庭は京都府指定文化財に指定されています。本堂にまつられているのは、市指定文化財の珍しい木造の釈迦涅槃像です。諸病平癒に利き目があるといわれ、自分の身体の悪いところと同じ部分をなでると治ると伝えられています。

亀岡市文化資料館刊行物目録の抜粋 (亀岡市ホームページに掲載)

【企画展示会図録】 備考欄の記号は、○が残部あり、△は残部なしを示しています。

No.	タイトル	規格 ／ ページ	発行年	残部	価 格	内 容
1	ふるさとウォッチング～寄贈・寄託資料を中 心に～	B5/ 6	昭和63 年	×		昭和60年11月の開館から昭和63年6月までの寄贈・寄託資料を紹介
2	第1回企画展 ふるさとのたからもの一市指定文化財から	B5/ 14	昭和61 年	×		昭和45年から昭和61年までに指定された、市内の文化財を、ふるさとのたからものとして紹介
3	第2回企画展 石への祈り—中世の石造美術—	B5/ 18	昭和61 年	×		市内に残る中世の石造品を紹介
4	第3回企画展 発掘調査から学ぶ	B5/ 18	昭和62 年	×		市内の発掘調査の成果を紹介
5	第4回企画展 文学の旅—名作の舞台を訪ねて—	B5/ 36	昭和62 年	×		文学作品に登場した丹波・亀岡の旧跡・社寺などを紹介。また、資料編として作品の文章を紹介
6	第5回企画展 遊び	B5/ 20	昭和63 年	×		伝統的な遊びと時代・社会との結合について探る
7	第6回企画展 刀・剣—まつりと信仰—	B5/ 20	昭和63 年	×		刀や剣が“マツリ”の中でどのように扱われたかを紹介
8	第7回企画展 米・豊かな実りを求めて —大昔の農具—	B5/ 20	平成元年	○	300	発掘調査で出土した農具から米作りを紹介
9	第8回企画展 宝林寺—信仰のこころとかたち—	B5/ 20	平成元年	×		宝林寺の宝物から見た信仰のかたちを紹介
10	第9回企画展 武者行列—甲冑の世界—	B5/ 20	平成2年	×		亀山藩ゆかりの甲冑を中心に紹介
11	第10回企画展 丹波の埴輪—1500年の時を越えて—	B5/ 20	平成2年	×		丹波地域出土の埴輪を中心に紹介
12	第11回企画展 尊氏と丹波の土豪	B5/ 28	平成3年	×		足利尊氏と、丹波の土豪との関係を紹介
13	第12回企画展 職人の民俗誌—寒天づくり編—	B5/ 28	平成4年	○	400	寒天職人の聞き語りから製造技術の実態と変遷を紹介

展		40			
第13回企画展	丹波亀山城物語	B5/28	平成4年	×	亀山城の築城・整備の歴史を紹介
第14回企画展	丹波一中・近世の考古学一	B5/36	平成4年	×	丹波の中・近世の遺跡、主に山城を中心に紹介
第15回企画展	稲の民俗学	B5/36	平成5年	○	500 稲作文化から先祖が“神に祈らざるを得なかった暮らしを考える
第16回企画展	南丹波の王—前方後円墳の世界—	B5/36	平成5年	×	南丹波の古墳時代前・中期の古墳を紹介
第17回企画展	丹波・亀山藩物語	B5/24	平成6年	×	亀山藩の成立・発展などについて紹介
第18回企画展	盆に迎える霊 —京都の盆行事と芸能—	B5/36	平成6年	○	500 盆行事の習俗や室町時代に流行した風流踊りなどを紹介
第19回企画展	—糸文守と丹波・法常寺	A4/32	平成7年	○	600 —糸文守と法常寺との関わりを中心に紹介
第20回企画展	亀岡 発掘40年	A4/28	平成7年	×	亀岡市制40周年を記念してその間に調査された遺跡を紹介
第21回企画展	古代人の願い	A4/24	平成8年	○	400 丹波出土の祭祀遺物を中心に。古代の“ツリ”を考える
第22回企画展	昔の道具たち	A5/24	平成9年	○	300 明治から昭和初期に使用された生活道具を中心に紹介
第23回企画展	亀岡の宝物	A4/20	平成9年	△	350 市指定文化財を中心に亀岡市内の宝物を紹介
第24回企画展	大堰川探検 —歴史を知り、自然を感じる—	A4/28	平成9年	×	大堰川水運の歴史や、川に生きる生物を紹介
第25回企画展	横穴式石室のはじまり	A4/24	平成10年	△	400 口丹波の導入期の横穴式石室を集成
第26回企画展	花嫁のいろどり	A4/21	平成10年	○	350 伝統的な婚礼の歴史を衣装や道具で紹介